

一般質問通告一覧表

令和7年6月17日

No. 1

番号	質問事項・質問の要旨	答弁者	質問者
1	1. 南河内基礎自治機能充実強化協議会について ・この度の南河内基礎自治機能充実強化協議会の設置に至った経緯及び今後の展開について問う。	町 長	松井議員
2	1. 防災対策について ① 防災対策の現状と今後の強化策について ② 避難所等の整備状況および改善計画	町 長	はまち議員
3	1. 介護崩壊を食い止め、住民が安心できる介護保険制度に 2024年4月に介護基本報酬の改正があり、訪問介護の基本報酬を2～3%引き下げた。以後、在宅サービスの存続は危機的な状況になっている。 町は、全国的なこの状況をどう受け止めているのか。 町の訪問介護事業所の実態、介護職員の労働条件、利用者さんの声・要望は？ 団塊の世代の人々が高齢化していき、今後さらに介護サービスの需要が増え続ける中、介護崩壊を食い止め、住民が安心して生活できるよう対策を求める。	町 長	岡野議員
4	1. こども家庭センターについて 2024年4月から全国の自治体に設置が進められている「こども家庭センター」が子育て世帯を支える新たな拠点として注目を集めています。 こども家庭センターはすべてのこどもとその家庭、そして妊産婦に対して、切れ目のない支援を提供する新しい公共機関ですが、太子町の今後の取り組みを問う。 1. これまでの大阪府子ども家庭センターの役割と、これから太子町が取り組んでいく役割の違いについて、取組実績も含めて問う。 2. 太子町の目指す新たな取組について ・こども支援策の充実について ・予防的施策について	町 長	斧田議員

番号	質問事項・質問の要旨	答弁者	質問者
5	1. 太子町の環境問題について ① 太子町の環境問題として歩道を覆う雑草の対応は ② 太子町の環境及び景観を損なうゴミ、ポイ捨ての現状と対応は	町 長	辻本議員
	2. 軟骨伝導イヤホンについて ① 軟骨伝導イヤホンの難聴者の方や高齢者の方への活用は ② 他市町では役所窓口で軟骨伝導イヤホンを活用しているが太子町では設置できないのか	町 長	
6	1. 全住民に保険証の発行を 2025年3月24日から、マイナンバーカードを運転免許証として利用できるようになることから、専決処分条例が提出された。免許証は①マイナ免許証だけ、②従来の免許証のまま、③2つを併用と、3パターンで利用することになる。 ところが、2024年12月2日に現行の保険証の新規発行は停止され、マイナ保険証が基本になっている。任意なので、マイナ保険証を選ばなくてもいいことにはなっているが、現在、使用している保険証は、その有効期限までしか利用できず、その後は当分の間、資格確認書になる。 住民は、申請する手間が増え、担当窓口は、区別する手間が増える。 医療現場でのトラブルも多い。トラブルを回避し、手間を省くためにも国保加入者全員に従来の保険証を届けることは考えられないのか。	町 長	西田議員
	2. 農業を守り発展を 農業支援として、イノシシ対策や学校給食でのオーガニック食材の推進など、これまでも様々な角度から農業問題を取り上げてきた。 「食糧自給率38%という現状でいいのか」。このことも訴えてきたが、米不足によって、国の行政策の脆弱さがあらわになった。 いま、農業、農家を守らなければ、太子町の豊かな自然をになう大切な田畑が消えてしまうのではないか。いくら道の駅の販売スペースを拡張したとしても売る農作物が無い状況でいいのか。 第6次総合計画（案）の中でも「近年では耕地面積、農家数とも減少が顕著となっており、令和2（2020）年の経営耕地面積は82ha、農家数は232戸となっています。」〔平成2（1990）年は経営耕地面積は208ha、農家数は478戸〕と、30年間に比べ激減している。 個人任せでは太刀打ちできない。太子町の農業、農家を守るために町独自の補助制度創設を。	町 長	